

広報かるまい3

平成24年(2012年) No.636



今月の主な内容

- 特集「生涯学習」 2~9
- 中学生海外派遣事業 10~11
- ふれあい共食交流会 12

日ごろの学習の成果を発表する町民生涯学習フェスティバルが2月5日に開催されました。下新町いきいき農園(写真)では、雑穀のアワの収穫を祝い「アワ踊り」を披露。芸達者な町民の皆さんがあつ多出演し、会場を盛り上げました。

生涯学習は、自ら進んで学ぶものと
地域を通じて学習することです。豊かな人生を送るために自ら進んで
学び、その学習によって生活の向上
を図ることが目的です。

町では、「まちづくりは、地域づくり
であり、人づくりである」という
考え方のもとに、昭和62年4月1日に
生涯学習の町を宣言しました。町民
だれもが、いつでも、どこでも生涯
学習に取り組めるよう支援し、また
それぞれの学習の成果が町全体に広
がるような体制づくりを進めてきました。

その例として、60歳以上の人を対象とした高齢者教室「寿大学」や、町で主に文化協会が講師となつて開催さ
れている町民講座があります。また、

学習の場をご利用 ください

まちづくりは 地域づくりであり 人づくりである



学びを通して充実した毎日を過ごしましょう

軽米町は、昭和62年4月の「生涯学習の町」宣言から26年目を迎えました。皆さん、生涯学習とはどういうことを指すかご存知ですか？ 町では町民の皆さんの学びの場を提供しています。そのような場を上手に使い、生涯学習に取り組んでみましょう。

ご活用ください

●出前講座「アイあい講座」

地域や町民などの団体が主催する集会などに、町職員が講師として出向き、町政の説明、専門知識を生かした実習などをています。

■対象

町内に在住、在勤または在学する5人以上で構成された地域、団体。

■内容

国民健康保険、習慣病予防、税金、介護、下水道、農業、文化財など
※講師料は無料です

【問】教育委員会事務局（☎ 46-4744）

●地区学習会等講師派遣事業

町内の学区・地区、自治公民館、グループなどが主催する学習会などの講師や指導者の謝礼金を助成します。

■対象

町内の団体などが開催する学習会などの、講師や指導者に対する謝礼金。

■助成額

講師謝金は1回につき4,500円を限度とし、同一地区で2回までの助成を原則とする。

※生徒・児童を対象にした事業もあります

自主的に学ぶこと で生活を向上

生涯学習、それは読んで字のごとく、生涯を通して学習することです。豊かな人生を送るために自ら進んで学び、その学習によって生活の向上を図ることが目的です。

町では、「まちづくりは、地域づくりであり、人づくりである」という考え方のもとに、昭和62年4月1日に生涯学習の町を宣言しました。町民だれもが、いつでも、どこでも生涯学習に取り組めるよう支援し、またそれぞれの学習の成果が町全体に広がるような体制づくりを進めてきました。

多くの町民が学ぶことは、地域全体の活性化、そして町の活性化につながります。次ページからは、町で提供する学びの場や、生涯学習に取り組む方々を紹介します。

特集

生涯学習

（特集9ページまで）

町民が元気になれば、地域が元気になる。
地域が元気になれば、町が元気になる。
軽米は生涯学習の町を
宣言してから26年目を迎えました。
今一度、学ぶことの大切さを知り
何かに挑戦してみませんか？
町を元気にするために――



生涯学習

かるまいお知らせ版で、随时紹介します。このページは、高齢者のための「寿大学」について、さまざまな分野を学んでいます。



◎平成23年度に開催された町民講座

教室名	() は主な講師
菊植え教室（軽米菊の会）	
社交ダンス教室（軽米ダンスクラブ、軽米町スポーツダンス）	
太極拳教室（太極拳同好会）	
英会話教室（外国语指導助手クリス・メインさん）	
俳句教室（俳句クラブ「北光吟社」）	
よさこいソーラン教室（軽米ソーラン愛好会）	
書道教室（書道クラブ）	
絵画教室（絵画クラブ「遊画会」、富田喜平司さん）	
盆栽教室（緑樹会）	
※一般的の町民の方を講師とした、お菓子作り体験、絞り染め体験、布ぞうり作り、手打ちそば教室、綺め飾り作り教室なども開催されました。	

自然と笑顔になれます

お父さん（夫）が亡くなってしまったから、「家に一人でいても暗くなってしまうし、何かやりたいなあ」と思い町民講座の書道教室に通うことになりました。講師の大清水先生の教え方も上手で、回を重ねるごとに楽しさが大きくなっています。新しく友だちもできだし、教室に参加すると自然と笑顔になれます。元気な限りは続けていきたいと思っています。好きなことを学ぶのは楽しいので、多くの人に町民講座に参加してもらいたいですね。

早川 七子さん

（向川原、68歳）
町民講座「書道教室」に参加して3年目。
童謡を歌う会のメンバーとしても活躍中

町民講座

気軽に学べる教室 「町民講座」

町文化協会などの協力を得ながら開催している学びの場が、軽米中央公民館主催の町民講座です。

本年度の町民講座では、書道、絵画、ダンスなど、さまざまな分野で19の教室が開かれ、延べ1200人が参加しました。町民講座の多くは参加費が無料で、興味のある分野を気軽に学べることが魅力です。文化協会が講師となる町民講座のほかにも、町内をバスで巡り季節の郷土食を味わう町民講座「郷土再発見」や、学校の夏休み期間に図画や習字、貝細工、木工体験などをを行う「子ども町民講座」も開催しています。また、2月5日には開催された生涯学習フェスティバルで会場を笑いの渦に巻き込んだ演劇団「伝楽坐」も、その始まりは平成21年度の町民講座「演劇教室」です。

町民講座は誰もが気軽に体験し、学べる教室です。少しでも興味のある人は思い切って足を運んでみましょう。充実した、楽しい時間を過ごせるはずです。



◎平成23年度に開催された町民講座

教室名	() は主な講師
菊植え教室（軽米菊の会）	
社交ダンス教室（軽米ダンスクラブ、軽米町スポーツダンス）	
太極拳教室（太極拳同好会）	
英会話教室（外国语指導助手クリス・メインさん）	
俳句教室（俳句クラブ「北光吟社」）	
よさこいソーラン教室（軽米ソーラン愛好会）	
書道教室（書道クラブ）	
絵画教室（絵画クラブ「遊画会」、富田喜平司さん）	
盆栽教室（緑樹会）	
※一般的の町民の方を講師とした、お菓子作り体験、絞り染め体験、布ぞうり作り、手打ちそば教室、綺め飾り作り教室なども開催されました。	

文化協会や町民が講師となって開催されている学びの場として町民講座があります。文化活動や

郷土を学ぶ講座、季節の行事に合わせた講座など、その内容はさまざまです。自分の興味のある

分野を、町民講座で学んではいかがでしょうか。

興味のあることから始めてみませんか？



←第2回講座ではノルディックウォーキングに挑戦



第1回講座で山本賢一町長の講話を真剣に聞く寿大学受講生（平成23年5月12日）

高齢者が、明るく豊かで生きがいの生活を送るために開かれている、高齢者教室「寿大学」。仲間とのふれあいや交流を深めながら、文化・歴史・スポーツ・生活など、1年を通してさまざまな分野を学んでいます。

学び続ける大切さ 全10回の教室開催

「今日は楽しく あすは明るく♪
あすは明るく♪ われらの町よく 軽米町よ♪」

軽米町民の歌が響き渡る中央公民館。昨年12月22日に高齢者教室「寿大学」の第39期修了式が開催されました。今年の受講生は全部で125人。そのうち6単位以上を取得した57人に修了証が贈られました。

寿大学は、町内在住の60歳以上の人たちが入学できる学びの場です。5月の開講式に始まり、12月の修了式まで、全10回にわたり講座が開かれています。

寿大学の講座は、月に1回から2回開催されます。今年度は、二戸消防署署員を講師に消火訓練や

普段の生活で活用できる講座

寿大学の講座は、月に1回から2回開催されます。今年度は、二戸消防署署員を講師に消火訓練や

防災訓練などを講師に消火訓練や活用できることがたくさんあります。今年度は7月に秋田県仙北市で「わらび座ミュージカル」を鑑賞しました。寿大学の講座には、普段の生活で活用できることがたくさんあります。今年度は記念すべき第40期を迎えるお説き合わせのうえ、ご参加ください。

寿大学は私の楽しみ

小さいころから国語の勉強が好きでした。数学はあまり好きじゃなかったですが（笑）。早いもので寿大学は今回で18回目です。いろいろなことを学べるし、たくさんの人の顔を見たり話ができる楽しいです。それに賞状をもらえるのがうれしいですね。今年は皆勤賞と修了証をもらいました。寿大学は私の楽しみです。来年度の講座が待ち遠しいです。



荒田 嘉子さん

（新光団地、80歳）
平成20年度に寿名誉博士（15回修了者）
を取得し、今年度も皆勤賞を受賞

特集

生涯学习



沢田神楽保存会



神久保けい子さん（観音林東）



軽米幼稚園さくらぐみの男の子



山下範雄さん（蓮台野）



並岡和昭さん（山内大久保）



軽米保育園保育士による語り部



小林忠男さん（下円子上組）



山内保育園と観音林児童館の園児による太鼓演奏



軽米幼稚園さくらぐみの女の子



郷土民謡研究「北榮会」



演劇団「伝楽坐」による
劇「てんぐ？てんぐ！天狗！？」

第10回軽米町民生涯学習フェスティバル *Lifelong learning festival*

記念すべき10回目の開催となつた
「軽米町民生涯学習フェスティバル」
(住民の手による生涯学習フェスティバル実行委員会主催)が2月5日、農村環境改善センターで開催されました。歌や踊り、演劇、よさこいなど、今年も元気で芸達者な町民の皆さんが出揃いました。町内から27の団体や個人、延べ約300人が参加し会場を盛り上げました。

開会にあたり同委員会の上岩恵美子会長は「初めは出でてくれる人を探すのが大変だった。年々盛り上がり、今年もたくさん的人が出演してくれています。最後までゆっくり楽しんでください」とあいさつ。また、10周年を記念して、協力金の一部を町社会福祉協議会へ寄附しました。

会場には約330人が訪れ、約6時間にわたるステージと、会場入り口に展示された習字やガラス彫り絵などの作品を楽しみました。

フェスティバルの開催にあたり、今年も延べ60人のボランティアが参加。前日や当日の会場準備、道具の搬出入、照明など、全てボランティアによつて進められました。まさに「住民の手による」フェスティバル。熱を帯びた会場の様子を写真でレポートします。(18、19ページに関連写真)

手作りのフェスティバル 芸達者な町民が大集合

自分たちを 地域を みんなを 元気に

円子から軽米を元気に

「自分たちを元気に！ 地域を元気に！

みんなを元気に！」

これは、円子よさこい組「どっこいしょ」

（宮本健一代表、以下「どっこいしょ」）の合

言葉です。

「どっこいしょ」が誕生したのは平成14年。

当時の円子小学校5、6年生の親子十数人で、第1回生涯学習フェスティバルに参加したのがきっかけ。1日限りの予定が予想以上の反響に活動の継続が決まりました。現在は町の夏祭りや生涯学習フェスティバル、福祉施設への慰問、八戸市など他市町村のよさこいまつりへの参加など、活動の場は年々増加。平成21年には、地域の活力向上を目的に活動する団体を岩手県知事が認定する、県のコミュニティ100選にも選ばれました。そんな「どっこいしょ」は今年、結成10年を迎えます。

代表の宮本さんは「あつ」という間の10年。

年々行事などが少なくなっているし、昨年は地元の円子小学校もなくなった。学校はなくなつたけど、練習場所である小学校の体育館からよさこいの元気な音を響かせたい。そして、この円子地区から軽米町を元気にしたい。

共に町を盛り上げたい

そういう気持ちでみんな活動しています」と話していました。

どっこいしょの設立から6年後の平成20年、小軽米よさこい連「月燐」（五郎丸絵理子代表、以下「月燐」）が誕生しました。当時、夫が小軽米駐在所に勤めていた青木千春さんから「よさこいをやってみたい？」と声をかけられた五郎丸さんが、小軽米保育園で保育士をしていた間賀可奈子さんと3人で、保育園のお遊戯会で披露したのがきっかけ。

「スタートは軽い気持ち。でもこのよさこいで地域を明るく元気にしたい」。五郎丸さんのそんな思いから、地域の子どもたちに声をかけメンバーを拡大。平成20年9月の月山神社のお祭りで、地域の人たちに初披露しました。ここから「月燐」の活動は本格的に始動しました。

そんな「月燐」は昨年7月、「新しい曲を覚えたい。隣の地区にある『どっこいしょ』と一緒に、町を盛り上げたい」という思いで、宮本さんに声をかけました。そこから「どっこいしょ」と共に練習を重ね、10月の食フェスで初共演。五郎丸さんは「一緒に練習することでいい刺激になるし、メンバーもみんな楽しんでいる。すごい盛り上がりがついています」と話しています。

2月5日の生涯学習フェスティバルではフイナーレを飾った2団体。町を元気にしたいという同じ目的で活動を続けています。これからも地域を元気に、そして軽米を元気にしてくれるでしょう。

特集「生涯学習」おわり



円子よさこい組「どっこいしょ」

【円子よさこい組「どっこいしょ」】

（宮本健一代表 平成14年設立）

メンバーは円子地区を中心とした町内から約50人で、生涯学習フェスや夏祭り、町外のよさこい祭りなどに出演。平成21年には県のコミュニティ100選に選出され、10周年を迎えた今は記念イベントを開催予定。



小軽米よさこい連「月燐」

【小軽米よさこい連「月燐」】
(五郎丸絵理子代表 平成20年設立)

小軽米地区の小学生を中心に、保育園児から大人まで20人を超えるメンバーで構成。元気な掛け声や踊りが、かわいらしくも力強い。生涯学習フェスの他、地元の祭りにも参加しイベントを盛り上げている。



自信と思い出を胸に帰国

坂本 大亮さん
(軽米中 2年)コミュニケーション
力は意欲から

平成24年(2012) 3月号



サンフランシスコ市庁舎をバックに一戸町の中学生と一緒に記念撮影

一戸町と合同で行っている中高生の海外派遣事業が1月5日から12日まで行われ、町内の中学生6人が参加しました。生徒らは、アメリカ西海岸のカリフォルニア州サンフランシスコ郊外で、ホームステイをしながらホストファミリー（受入家族）との日常生活や学校訪問を通して、日本とは異なる文化や歴史、風土などを学びました。海外派遣から帰国した、生徒の声を紹介します。
(生徒の作文から抜粋)

最初は不安でいっぱいでしたが、到着したサンフランシスコが珍しく快晴で、不安は期待へと変わりました。現地での文化交流では、剣道の形やお茶を披露しました。剑道の着付けをしてあげると、現地の人達は侍になつたつもりで木刀を構え、すごく楽しそうでした。

コミュニケーション力を身に付けていたと思い研修に参加しましたが、研修を通して、コミュニケーションをとる時に必要なのは相手から情報を取り込むとする「意欲」だと思いました。英語は分からぬことも多かつたけど、不思議と相手が言おうとしている事が分かるような気がしました。

佐々木莉紗さん
(軽米中 2年)

将来に生かしたい

「聞くことが大切」という事を、この研修では、伝えようとした。私はアメリカに興味があり、英語も好きです。しかし、自分の英語力に自信がありました。だから、英語力を鍛えるためにこの研修に参加しました。だから、「聞くことを大切にし、道の形やお茶を披露しました。剑道の着付けをしてあげると、現地の人達は侍になつたつもりで木刀を構え、すごく楽し

学んだことを自分の成長につなげたい

長内 葵さん
(軽米中 2年)

自分の気持ちを伝えたり、相手の思いを理解するのが大変で、どうしていいのか分からずかしい時がたくさんありました。しかし、自分からいさ

つをするのことを心がけたことで、コミュニケーションをとれるようになりました。

文化交流では、日本の良さを伝えることができたし、喜んでもらえたことを肌で感じることができました。また「やつてよかったです」という達成感もあります。

今回の海外派遣で学んだことは、自分の思つていることは、しっかりと相手に伝えないと分からぬといふことであります。学んだことを、自分の成長につなげていきたいです。

言葉の通じない外国だからこそ気づいた

鶴鉢 梓さん
(笹渡中 2年)

現地の生徒との交流で、日本折り紙を紹介しました。最初は、英語に自信がなく恥ずかしい気持ちから、ただ鶴鉢を折つて見せるだけでした。

現地の生徒はまねをして鶴鉢を完成しようとしていますが、うまくできません。私はその生徒に「鶴の折り方を教えたい」と思い、自分から先生に英語を聞き、身振り手振りで一生懸命教えました。ようやく完成し、その生徒はとても喜んでくれました。自分の考え方や思いを持ち、相手の気持ちを考えることこそコミュニケーションが必要だと思いました。言葉が自由に使えない外国だからこそ気を折つて見せるだけでした。

アメリカの生徒の積極さに感心

高田瀬奈さん
(小軽米中 2年)

アメリカの生徒の積極さに感心です。ホームステイ先では全員が食卓についた時、まず目をつぶつて手を組み「アーメン」と全員で唱えてから、夕食を始めます。日本にはこのよう

な習慣はないので驚きました。また家族内でのルールがしっかり決められていて、私も家族の一員として、食事用のお皿の準備と食器の片付けを任せられました。

現地の学校の授業見学では、分らない所を積極的に質問したり話し合いの場では自分の意見をしっかり持つて相手に伝えることを心がけています。

坂菜菜子さん
(晴山中 2年)

アメリカの生徒の積極さに感心です。ホームステイ先では全員が食卓についた時、まず目をつぶつて手を組み「アーメン」と全員で唱えてから、夕食を始めます。日本にはこのよう

な習慣はないので驚きました。また家族内でのルールがしっかり決められていて、私も家族の一員として、食事用のお皿の準備と食器の片付けを任せられました。

現地の学校の授業見学では、分らない所を積極的に質問したり話し合いの場では自分の意見をしっかり持つて相手に伝えることを心がけています。

自分の気持ちを伝えることが大切

中内由依さん
(中内 2年)

自分の気持ちを伝えたり、相手の思いを理解するのが大変で、どうしていいのか分からずかしい時がたくさんありました。しかし、自分からいさ

つをするのことを心がけたことで、コミュニケーションをとれるようになりました。

文化交流では、日本の良さを伝えることができたし、喜んでもらえたことを肌で感じることができました。また「やつてよかったです」という達成感もあります。

travel memories



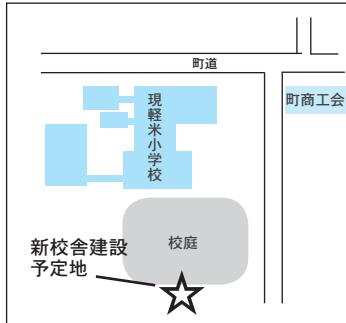
現地の生徒との交流で、日本折り紙を紹介しました。最初は、英語に自信がなく恥ずかしい気持ちから、ただ鶴鉢を折つて見せるだけでした。

現地の生徒との交流で、日本折り紙を紹介しました。最初は、英語に自信がなく恥ずかしい気持ちから、ただ鶴鉢を折つて見せるだけでした。



町や学校関係者、工事業者が工事の安全を祈願しました

軽米小学校周辺の見取り図



*現校舎の東側に新校舎が建設される予定です

軽米小学校の老朽化による新築事業の第1期造成工事開始に伴い、2月10日に安全祈願祭が開かれました。学校関係者や工事業者など約30人が出席し、軽米八幡宮の菅原皓文宮司によって執り行われました。安全祈願祭を終え山本賢一町長は「子どもたちが喜んで通える学校にしたい。安全に工事をお願いします」とあいさつしました。

軽米小学校の新築事業は、今回始まった第1期造成工事で、主に校舎を新築する土地を造成。今年の9月末までに完了し、その後校舎の新築工事が始まります。新校舎は平成26年1月末ころに完成する予定で、その後同年2月

造成工事を開始しました

軽米小学校新築事業

地域のつながりで進める ふれあい共食事業

【問い合わせ】地域包括支援センター（健康ふれあいセンター）内☎46-4111

交流会で活動状況や課題を共有



自分の地区的活動状況や課題についてお互いに意見を出し合いました

高齢者同士の交流や運動による介護予防を目的に開催されているふれあい共食事業。今年度は町内7会場で開催されています。2月20日には各地区のサポートなど約60人が参加して交流会が開かれ、今後の活動に生かすため意見を交換し合いました。

昨年度から始まったふれあい共食事業。今年度は、町内の7会場で24回開催され（2月20日現在）、3月末までに計31回開催される予定です。各地区の取り組みや課題について情報交換し、今後の活動に生かすため、2月20日にふれあい共食事業等サポート交流会が開催されました。町地域包括支援センターの職員によって各地区の活動が写真で紹介されたほか、地区ごとに話し合い、他の地区的メンバーを交えての情報交換会も開催されました。

無理をせず楽しく続けることが大事

情報交換会では、「いつも楽しまれている」という声や「男性の参加者が少ない」という課題など、たくさんのお意見が出されました。

向川原地区的澤勇三さんは「この事業の本来の目的は介護予防、毎月1回みんなで

25日の説明会には、町民や近隣市町村などから約50人が出席しました。

25日の説明会には、町民のほか、八戸市などから、約50人が出席。事業主体となるアルバ環境開発（河野滋社長）が、処分場の必要性や事業内容、環境対策について説明しました。出席者からは「建設予定地の近くには瀬内川もあり危険」「農作物への影響が心配」など、計画への反対意見が相次ぎましたが、一部賛成意見も出ました。

早渡地区 産廃最終処分場計画 2会場で説明会



早渡地区的採石場への、産業・一般廃棄物最終処分場建設計画に関する説明会が、2月24日に高家生活改善センター（准教授が「地区活動の実践のあり方」と題して講演。「地域で活動するためには、楽しいこと、ためになること、ふれあいや交流があることが絶対条件。そしてその活動を続けるためには、無理をしないこと、役割分担をして進めていくことが必要」と参加者に訴えました。

説明会の後は、岩手県立大学社会福祉学部の都築光一准教授が「地区活動の実践のあり方」と題して講演。「地域で活動するためには、楽しいこと、ためになること、ふれあいや交流があることが絶対条件。そしてその活動を続けるためには、無理をしないこと、役割分担をして進めていくことが必要」と参加者に訴えました。

情報交換会の後は、岩手県立大学社会福祉学部の都築光一准教授が「地区活動の実践のあり方」と題して講演。「地域で活動するためには、楽しいこと、ためになること、ふれあいや交流があることが絶対条件。そしてその活動を続けるためには、無理をしないこと、役割分担をして進めていくことが必要」と参加者に訴えました。



交流会の最後には景品付き輪投げ大会が開かれ、参加者らは交流を深めました

町勢の発展に貢献

平成23年度の町表彰式典が
2月23日に開催されました。
本年度は、元町スポーツ推



(前列左から) 鶴飼一男さん、内澤多賀志さん、小野寺翔吾君 (後列左から) 田端敏夫さん、紫葉秀雄さん

進員の武藤昭さん、元町商工
会役員の内澤多賀志さん、第
36回「ごはん・お米とわたし」
作文コンクールで全国優秀
賞・岩手県知事賞を受賞し
た小軽米中学校の9人に表彰
状が贈られました。表彰された
方は次のとおりです。

表彰者（敬称略）

スポーツ功労賞

武藤 昭（向川原）

産業経済功労賞

内澤 多賀志（仲町）

消防功労賞

坂本 一人（下円子上組）
紫葉 秀雄（内城）
駒木 熱（観音林南）
長坂 茂松（民田山）
田端 敏夫（高家）
竹下 光一（中村）
中野 勇蔵（百目金）
土佐 勝則（大沢）
鶴飼 一男（鶴飼）

文化優秀賞

小野寺 翔吾（小軽米中2年）



日山篠体育協会会長から表彰状が手渡されました

町体育協会表彰

スポーツでの活躍たたえる

スポーツ分野で顕著な成績を収めた競技者に贈られる町体育協会表彰の表彰式が、2月5日の生涯学習フェスティバルの会場で行われました。表彰者は次のとおりです。

	於本 萌吹 仲條 葉	軽米小4年 軽米小3年	県小学生学年別大会4年生以下の部	第3位
ソフトテニス	中村 正志 笠原龍介	町ソフトテニス協会 町ソフトテニス協会	県選手権大会シニア男子の部 春季岩手県大会	優勝 準優勝 第3位
	田代明莉	軽米中学校ソフトテニス部	県中学校総合体育大会 県中学校新人大会	優勝
剣道	工藤 有理 佐藤 由望 佐々木莉紗	軽米中3年 軽米中3年 軽米中2年	県中学校総合体育大会女子個人の部 県スポーツ少年団剣道大会女子個人の部 県スポーツ少年団剣道大会女子個人の部	第3位 優勝 第3位
	長内 葵 長内 拓	軽米中2年 軽米高2年	県中学校新人剣道大会女子個人の部 県下剣道選手権大会男子二段以上の部	優勝 優勝
卓球	小林 杏里 小笠原涼馬 小笠原洋祐 小笠原笑太	軽米高校卓球部	県高校総合体育大会 全国高等学校選抜卓球大会岩手県大会 県高等学校新人卓球大会 青森県高等学校新人卓球選手権大会	準優勝 優勝 第3位 準優勝
サッカー	内澤 智貴	遠野高3年（軽米中出身）	全国高校総合体育大会岩手県大会	優勝
陸上	大崎 拓真	軽米中1年	全日本中学生通信陸上県大会1年男子100m	第3位
ゴルフ	川崎 廉 岩谷 佳奈	軽米中3年 軽米高2年	東北中学校ゴルフ選手権大会 全国高校ゴルフ選手権秋季東北大会	優勝 準優勝
弓道	松本 英之	福岡高3年（軽米中出身）	全国高等学校総合体育大会	優勝

80過ぎても健康な歯

第57回町歯科保健部会が2月24日に健康ふれあいセンターで開催され、「イー歯トップ8020コンクール」県歯科医師会主催の表彰状伝達式が行われました。このコンクールは80歳以上で健康な歯を20本以上持つ方を表彰するもので、80歳で28本の健全歯を持つ大道口チセさん（鶴飼）に、部会長の堀米榮一さん（堀米歯科医院）から8020推進財団理事長賞が手渡されました。また松村欣一さん（荒町）、大道口長一さん（鶴飼）須藤春松さん（萩田）、山根キヨさん（下新町）が表彰されました。夫婦で受賞となった大道口チセさんと長一さんは、「特に何か気をつけているわけでもない。好き嫌いせず食べ毎日歯磨きをしているだけです」と笑顔を見せしていました。

表彰後には、岩手医科大学歯学部の山田裕之先生が、成長発育期における矯正治療について講演しました。



Aブロック優勝の山内
①山内 ②観音林 ③笹渡



第34回町総合体育大会の卓球競技が、2月19日に町民体育馆で開催され、Aブロック

第34回町長杯卓球大会結果
杯卓球大会が2月5日に町民体育馆で開催されました。町内外から約150人が参加し、熱戦を開催しました。各部門の優勝者は次のとおりです。（町民のみ敬称略）
▼ホーブスミニ男子 屋敷大（笛渡小2年）
▼ホーブスミニ女子 畠中亮祐（軽米小6年）
▼ホーブス男子 田代明莉（晴山小4年）
▼カデット男子：笛渡中2年 山崎実穂（笛渡中2年）
▼カデット女子：笛渡中2年 野中麻衣（晴山小6年）
▼カデット団体女子：晴山中 アマチャニア男子：高柳恒雄（高柳）
▼一般男子 南有紀（町卓球協会）
▼一般女子 小林杏里（軽米高1年）



優勝した（左から）野中麻衣さん、畠中亮祐君、田代明莉さん、屋敷大君

「火の用心!!」

かい

小田島碧海 君（軽米小）

ポスターコンクールで特選

二戸地区危険物安全協会と二戸消防本部主催の第35回火災予防運動ポスターコンクールで、軽米小学校の小田島碧海君（6年）の作品（左下）が、最高賞となる特選に輝きました。

小田島君は「たばこのポイ捨てやてんぷら油などによる火事が多いことを知ったので、そのような火事に気をつけてほしいという気持ちで書きました」と話していました。

同コンクールには、同本部管内の小学校から92点の応募がありました。小田島君の作品は今後、今年の火災予防ポスターとして、二戸管内の事業所などに配布される予定です。



生まれ育った軽米のため

軽米高校生が自衛隊入隊報告

陸上自衛隊一般曹候補生に合格した軽米高校3年の円館卓土君が2月24日、自衛隊への入隊報告のため山本賢一町長のもとに訪れました。山本町長は「自分の責任をしっかりと自覚し頑張ってきてください」と激励。円館君は「生まれ育った軽米のためにも、心と体を鍛えながら頑張ってきます」と活躍を誓いました。

円館君は4月から、宮城県多賀城駐屯地で新隊員課程の前期教育隊へと進みます。

春を呼ぶ華麗な舞

第15回春の芸能祭り

町芸能愛好会（小林一郎会長）主催の第15回春の芸能祭りが2月19日、農村環境改善センターで開催されました。同会のメンバーの他、青森県の八戸市や階上町、三戸町などの芸能団体が出演。会場には約400人が訪れ、華麗な舞に大きな拍手や声援を贈っていました。

この祭りはチャリティーショーとして開催されており、収益金の一部は、町社会福祉協議会へと寄附されます。



昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

1月28、29日の2日間、第9回生涯学習フェスティバルが、文化センターと図書館で開かれました。延べ1,000人を超える来場者は、映画会や講演会、各コーナーの展示や体験を通して、それぞれの「学びと出会い」を実感していました。



ボランティアで新聞届ける

「すべての教室へ新聞を」運動

「すべての教室へ新聞を」運動に対する感謝状贈呈式が2月17日に農村環境改善センターで開催され、軽米地域推進委員会の本宮輝さん（蓮台野）と内澤均さん（沢里、欠席）に感謝状が贈られました。

この運動は、地域の新聞販売店から地元の学校へボランティアで新聞を届ける運動で、町では平成21年度から町内の中学校3校に、毎月新聞が届けられています。本宮さんは「これからも子どもたちのために役立てもらいたい」と話していました。



料理教室で雑穀の知識深める

晴山中で雑穀料理教室

晴山中学校（吉田覚校長、生徒63人）の2年生が2月2日、6月に種をまき9月に収穫したイナキビを使い、親子雑穀料理教室を開催しました。地元の食生活改善推進員と健康福祉課の栄養士が講師となり、イナキビ入り肉みそなどの調理に挑戦しました。

同校では、町の特産である雑穀を学校農園で栽培し、他の特産品とともに修学旅行の際に販売。今年も4月の修学旅行で販売する予定で、今回の料理教室や総合学習を通して、雑穀のよさなどを学んできました。円館悠騎さんは「雑穀の成分、効能、料理方法などについて勉強してきた。修学旅行では、イナキビのよさを東京の人たちに伝えてみたい」と意気込んでいました。

また3年生は、東日本大震災の影響で販売体験ができなかったことから、収穫した雑穀をPTAに販売し、売上金を震災の義援金として贈りました。



(写真右) PTAへの雑穀販売の売り上げを義援金として贈った3年生



ごみを出さずに資源に

ごみ減量化・資源化にかかる講演会

ごみ減量化・資源化にかかる講演会（町、町議会主催）が、2月10日に農村環境改善センターで開催されました。平成15年に「ごみゼロ」を宣言している徳島県上勝町の、NPO法人ゼロ・ウェイストアカデミー事務局長の藤井園苗さんが講演。「ごみを燃やすにお金をかけるより、資源を循環させることにお金をかけるべきでは」という考え方を始めた、家庭での生ごみ処理への補助や34種類の資源ごみ分別収集などについて講演しました。



自分の中にいる鬼を退治

節分の豆まき

観音林児童館は2月3日、節分の豆まきを行いました。紙芝居で節分の由来や鬼の話を聞いた後は、待ちに待った豆まき。園児たちは、手作りの鬼のお面をつけて、自分の中にいる「泣き虫オニ」「いじわるオニ」「ケンカをするオニ」などを追い出すために「オニは～そと！」と元気いっぱいに豆をまきました。また、風邪を引かず丈夫な体になると、自分の年より一つ多い数の豆を食べ、今年1年の無病息災を願いました。



笑顔あつまれ！ みんなの広場

みんなに元気を…

そのひとつ、「ひとでは
海のお星さま」が第18
回矢沢宰賞佳作一席に
入選しました。

『ひとでは海のお星さま、
ひとでは海のお星さま
今日は暗い海の中
いろいろな色で飾ってくれる
時にはわかれめを食べちゃ
魚にいっぱいしかられる
だつて、お腹がすいて動け
ひとでは海のお星さま
今日も岩にくついて
暗い海を飾つてくれる
時には魚につつかれて
いっぱいいたずらされても
ひとでと魚はとても仲良し
ひとでは海のお星さま
空に光る星のよう
輝くことはできなきけれど
ひとでなりの一生を
精一杯 生きている



・軽米中学校1年
山下 美香 さん
(小玉川)

軽米の埋もれし宝



大日向II遺跡出土のシカの上あご(左)
とイノシシの下あご(右)の骨

■夢・希望・えんぴつ■



軽米セレモニーホール眞照堂（岩崎）

家族みたいな楽しい職場

洋野町種市出身の小砂子瑞希さん。昨年4月から軽米セレモニーホール真照堂で、ホールスタッフや事務の仕事を頑張つています。

ス（高校3年間頑張りました）

▼好きな色…黒、白、ピンク

▼好きな花…カーネーション

▼好きな食べ物…甘いもの

▼今欲しい物…豪邸

▼今との悩みは…スマートフォンの扱い方

▼理想の異性のタイプ…好きになつた人がタイプですが、スポーツマンみたいな人がいいですね。まじめに仕事をしてくればそれでいいです（笑）

☆当コーナーでは、町在住、または町で働く若者を紹介しています

A photograph of a calligraphy exhibition. The image shows several vertical scrolls (kōhō) and horizontal scrolls (kōhaku) arranged on a light-colored wooden floor. The scrolls contain various poems and names written in different styles of Japanese calligraphy, such as cursive (shōsōgaki) and formal (kyōtōgaki). The background is a plain, light-colored wall.

A portrait of a woman with dark hair, smiling broadly. She is wearing a black button-up cardigan over a white collared shirt. Her hands are clasped in her lap. The background is slightly blurred, showing an indoor setting.

みすき
瑞希 さん
(19歳、沢里)

身長160センチ、おとめ座
軽米セレモニーホール勤務

Q、今したいことは？
休みの日には思いつきで仙台とかに行っちゃいます！でも今は冬なので家でおとなしくしています。

Q、趣味や休日にすることは？
ドライブや旅行が好きです。

Q、（性格じゃないですね…）いもの大好き！寝るのも大好き!!

今月の俳句

(北光吟社 1月例句会)

今月の俳句

(北光吟社 1月例句会)

まず植物質食料ですが、水吉V遺跡（旧水吉集落）では縄文時代早期のオニグルミ・晚期のモモ、大日向II遺跡では同前期後葉（中期内のオニグルミ・コナラ属（ドングリ）の炭化した実の破片が出土しています。また駒板3遺跡（大清水集落の南）では後期後半のオニグルミ・クリが、上野場3遺跡では晚期後半のクリ・トチノキ・クルミ・コナラ・サンショウウ（山椒）が出土しています。

いずれも堅穴住居跡の埋め土や土器の捨て場でたまたま少量発見されたもので、植物は加工して食べてしまえば形が遺りませんので、発見例は多くありません。これららの稀少な発見例によると、長期間を通じて、クルミやカ

な堅果類が好まれているようですが、また、コナラやトチノキなどは水さらしや土器で煮て「アク抜き」する必要がありますが、縄文時代前期には既に加工技術を^{えんじゆ}得していただものと考えられます。

次に動物ですが、動物を食べた跡と考えられる骨は土に溶けやすく遺りにくいため、出土例は大日向Ⅱ遺跡のみです。縄文時代前期のシカ・イノシシ・ノウサギなどの哺乳類の骨や歯のほか、アオザメの歯、ウバガイ・マガキの貝片などの海産物が住居跡や捨て場から計50点ほど発見されています。軽米の縄文人は、山と海の旬の幸を味わう「グルメ」であったようですね。

(教育委員会学芸員 藤田直行)

な堅果類が好まれているようですが、また、コナラやトチノキなどは水さらしや土器で煮て「アク抜き」する必要がありますが、縄文時代前期には既に加工技術を会得していたものと考えられます。

次に動物ですが、動物を食べた跡と考えられる骨は土に溶けやすく遺りにくいため、出土例は大日向II遺跡のみです。縄文時代前期のシカ・イノシシ・ノウサギなどの哺乳類の骨や歯のほか、アオザメの歯、ウバガイ・マガキの貝片などの海産物が住居跡や捨て場から計50点ほど発見されています。軽米の縄文人は、山と海の旬の幸を味わう「グルメ」であったようです。

生活安全の森

子どもを交通事故から守りましょう！

間もなく新入学期を迎えます。入学・入園を迎えた子どもの行動範囲は広がるため、交通事故が心配されます。保護者や周囲の大人が手本となり、子どもを交通事故から守りましょう。

《保護者の皆さんへ》

- ・あらかじめ通学（園）路を子どもと一緒に歩き危険な場所や注意する場所を確かめるとともに、安全な歩き方を具体的に教えましょう。
- ・道路を横断する際は、「止まる・（左右を見る・（車の通過を）待つ」を習慣づけ、安全な横断の仕方を具体的に教えましょう。
- ・青信号に従って通行するときでも、安全確認を忘れないように教えましょう。
- ・車の陰や道路で遊ぶことの危険性を理解させ、遊ばせないようにしましょう。
- ・自転車に乗せる際はヘルメットの着用を！
- 《ドライバーの皆さんへ》
- ・運転中に子どもの姿を見かけたら、飛びだしなど

二戸警察署軽米駐在所（☎ 46-2004）

の危険予測をしていつでも止まれるように速度を落とし安全な間隔をとって運転しましょう。

- ・車を発進させる前に車の前後に子どもがいるか確認しましょう。
- ・子どもを車に乗せる際は、チャイルドシートを使用しましょう。

1月の事故と救急の数字

▶町内の交通事故、救急車出動回数

	当月	累計	昨年比
人身事故	0件	0件	-2
死亡者	0人	0人	±0
負傷者	0人	0人	-2
物損事故	14件	14件	+3
救急車出動回数	35回	35回	+1

※（累計）は1月からの合計
※見直しにより前月の数値と異なる場合があります

▶今月の飲酒運転検挙者はいません



献血にご協力をお願いします！



健康福祉課
主事
玉館 博一

皆さんは、献血することに不安を感じたことはないでしょうか。不安がある方の主な理由は、献血することで生活に支障がないかということです。実際には、採血後に体の中で自然に血液量やその成分が回復するため、影響はありません。

私たちの体を流れる血液量は、個人差もありますが、成人の場合男性で体重の約8%、女性で約7%と言われます。医学的には、そのうちの約15%の採血量までは日常生活に

影響ないとされています。体重が50kgの方は、男性で約600ml、女性で約525mlまで献血が可能で、採血基準に合っていれば体への影響はないことがあります。全血献血では、1回の献血量を体重50kg以上の方は400mlとしていますので、安心して採血できます。

今も多くの方が輸血を必要としています。それを支えているのは、皆さんからの献血です。皆さんのがんばりご協力をお願いします。

Sarunashi wine nouveau

好評発売中

さるなしワイン

容量 720ml 1,292円

期間限定醸造

(問) 株式会社軽米産業開発 (TEL 46-4222)

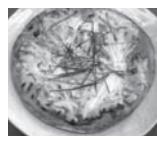


B級グルメ誕生か？

ダッタンそば粉入り「そばかつけピザ」

配達します！お土産用あります！

雑穀弁当・仕出し・宴会 食事処 内まる屋 (TEL 46-2318) 見さんちの18番



※広報かるまいでは、町内の業者などからの広告を掲載しています

（目）指そう！はつらつ人生

地域包括支援センター（☎ 46-4111）

お口の健康から始まる介護予防

いつまでも、いきいきと元気に過ごすためには、お口の健康を維持することが大切です。お口が健康だと、食物をしっかりと栄養の吸収が促進されるだけでなく、だ液によって口の中を清潔に保ち、脳を活性化し認知症を予防するなど私たちの健康によい影響を及ぼします。

2月8日に晴山公民館で開催された「はつらつ教室」（口腔・栄養編）では、堀米歯科医院の遠藤美保子歯科医師が「1日1回は必ず口の中をチェックしてください。お口の健康は、健康・長生きの秘訣です」と講演しました。また岩手県歯科衛生士会の小野寺圭子さんを講師に、口や舌の体操、だ液腺マッサージなど、自分でできる口腔ケアが行われ、参加者は理解を深めました。

口腔ケアや栄養について、各地区で教室を開きたい場合は健康福祉課（健康ふれあいセンター内☎ 46-4111）までご相談ください。



○食べる前に舌の運動を！
だ液の分泌が促され、口の動きがよくなります。



舌で上唇を押す
舌で下唇を押す
舌で左右の頬を押す
口唇の内側を舐めるように回す。最後にたまつただ液をゴックン！

（目）書館だより

－ 今月の新刊 －

【児童書】

おなかのなかの、なかのなか



作／あさのますみ
絵／長谷川義史
ネコに食べられてしまつた、くいしんぼのねずみのチユッチは、ネコのおなかの中にあったホットケーキを食べました。すると、ネコがはらべこに…。

町立図書館（☎ 46-4333）

手づくり絵本・紙芝居巡回展

期間：3月22日(木)～25日(日)
場所：町立図書館となりの蔵
※世界に一つしかない手づくりの絵本・紙芝居79点を展示します

【一般書】

クリーニングのプロが教える家庭でできる洋服の洗い方とお手入れ



著／古田武

家庭でできる毎日の洗濯のコツや季節のアイテムのお手入れをクリーニングのプロがわかりやすく紹介。アイロンテクニックも収録。

図解 東京スカイツリーのしくみ

編／NHK出版



高さ 634 メートルの電波塔「東京スカイツリー」。地震など揺れへの対策をはじめ、超高層建築完成までの過程を写真とイラストでわかりやすく説明。

漢詩の絵本

編訳／加藤徹



違う時代を生きた人々の人生や感動が凝縮している漢詩。漢詩をより一層楽しめるよう訳文と解説を入れ、イメージにあう写真やイラストで展開。

3月 March

16	金
17	土
18	日
19	月
20	火【春分の日】
21	水2歳児健診【ふ】13:00~13:30受付
22	木
23	金
24	土
25	日夜間・休日の納税相談【役場税務会計課】(～27日)
26	月
27	火
28	水ビヨビヨ教室【青少年ホーム】10:00~12:00
29	木
30	金
31	土

4月 April

1	日
2	月
3	火
4	水胃がん検診【米田農業構造改善センター、笛渡農業構造改善センター】6:00~8:30受付
5	木胃がん検診【ふ】6:00~8:30受付
6	金胃がん検診【山内農業構造改善センター、高家生活改善センター】6:00~8:30受付 春の全国交通安全運動(～15日)
7	土
8	日胃がん検診【環】6:00~9:30受付
9	月
10	火交通事故死ゼロを目指す日
11	水胃がん検診【晴山公民館、晴山農業構造改善センター】6:00~8:30受付
12	木胃がん検診【生後生活改善センター、小玉川生活改善センター】6:00~8:30受付
13	金胃がん検診【小軽米生活改善センター】6:00~8:30受付
14	土
15	日胃がん検診【環】6:00~9:00受付

(カレンダー中の【】は開催場所で下記のとおり表示します)
 体:町民体育館 環:農村環境改善センター 公:中央公民館
 国立図書館 病:県立軽米病院 ふ:健康ふれあいセンター
 老:老人福祉センター フ:雪谷川ダムウォリースターパーク・軽米
 ミ:レッピーパーク 歴:歴史民俗資料館 ハ:ハートフル・ス
 ポーランド 運:運動場 ゲ:ゲートボール場

スナップ写真館

第10回生涯学習フェスティバル
(2/5、農村環境改善センター)

約20人が演舞「韓国ソーラン愛好会」

お知らせ情報
Information

国家公務員総合職と一般職の試験を実施

◎総合職(院卒・大卒程度)

- 受付期間:
〈インターネット〉4月2日(月)～4月9日(月)
〈郵送・持参〉4月2日(月)～4月3日(火)

◎一般職(大卒程度)

- 受付期間:
〈インターネット〉4月10日(火)～4月19日(木)
〈郵送・持参〉4月10日(火)～4月11日(水)

◎第一次試験

- 受付期間:
4月29日(日)

◎第二次試験

- 受付期間:
6月17日(日)

※詳しく述べは人事院ホームページをご覧ください。

【問い合わせ先】人事院東北事

務局第二課試験係(☎022-221-2022)

国税専門官の採用試験を実施

国税専門官採用試験(大卒程度)を実施します。

- 受験資格:①昭和57年4月2日から平成3年4月1日生まれの人 ②平成3年4月2日以降生まれの人で、平成25年3月までに大学を卒業見込みの人など

◎受付期間

- 〈インターネット〉4月2日(月)～4月12日(木)

◎第一次試験

- 受付期間:
4月2日(月)～4月3日(火)

【問い合わせ先】仙台国税局人事第二課試験研修係(☎022-263-1111)



晴山しゃきっとクラブの皆さん元気に踊りを披露



中国の踊りを披露した日本山西省友好協議会軽米支部の皆さん



前日の準備から当日の進行までボランティアによって行われました

さい。

▶保険期間:平成24年4月1日以降の手続き完了日翌日から平成25年3月31日まで
▶年掛金

- ①A1=800円(中学生以下の団体活動全般)
- ②A2=800円(高校生以上のスポーツ以外の活動。文化・ボランティア活動など)
- ③B=1,000円(65歳以上の方のスポーツ活動)
- ④C=1,850円(高校生以上のスポーツ活動)

※その他にも区分あり。
 ▶補償内容:入通院1日目から入院1日4,000円・通院1日1,500円(A1、Cの場合)
 【問い合わせ先】町教育委員会生涯学習グループ(☎46-4744)

地域で取り組む介護予防活動を応援

岩手県土地家屋調査士会二戸久慈支部では、4月1日「表示登記の日」を記念して、次のとおり無料相談を行います。

▶日時:4月1日(日)午前10時～午後3時

▶場所:二戸市シビックセンター

▶相談内容:土地の地目変更、分筆・合筆、建物の新築・増築・減失登記、土地・建物の調査測量、境界問題など

【問い合わせ先】岩手県土地家屋調査士会二戸久慈支部二戸地区事務局 大村(☎46-2027)

二戸消費生活センター消費生活相談のご案内

平成24年4月の相談日は次のとおりです。電話でご予約のうえお越しください。

◎法律相談

4月10日(火)、24日(火)

◎お金と暮らし相談

4月13日(金)

◎多重債務相談

4月17日(火)

※場所:二戸消費生活センター(二戸地区合同庁舎内)

【申し込み・問い合わせ先】二戸消費生活センター(☎23-5800)

スポーツ保険で安心して運動を

運動中やボランティア活動中の事故を補償するスポーツ安全保険の平成24年度の加入受付を行っています。5人以上のグループ・団体でお申し込みくだ

岩手駐屯地音楽隊定期演奏会を開催

▶日時:3月17日(土)午後2時15分開場 午後3時開演

▶場所:盛岡市民文化ホール(マリオス)

▶出演予定者:岩手駐屯地音楽隊、巖鷲太鼓、陸上自衛隊第9音楽隊、秋田駐屯地音楽隊
 ※入場無料。先着入場。

【問い合わせ先】陸上自衛隊岩手駐屯地司令業務室(☎019-688-4311)

もしもの時に備えてますか?

3,000×80回で大きな安心 玉姫グループ互助会 会員募集中
 宿泊室完備…24時間いつでも病院から直接入室できます。
 お年寄りの方や、お体の不自由な方にも対応したバリアフリー施設です。
軽米セレモニーホール眞照堂
 岩手県九戸郡軽米町大字上館15-130-1
 24時間受付 電話46-4109

※広報かるまいでは、町内の業者などの広告を掲載しています



好評発売中
 軽米町産さるなし100%使用
さるなしの凍
 (甘口、リキュール)
 500ml ¥1,260(税込み)
 販売元・お問い合わせ
 リカー&フーズこばやし(TEL46-2059)

広告募集中

広報かるまいでは、町内業者などからの広告を募集しています。現在1枠を募集しています。

広告掲載料:4,000円/月
 (6ヶ月以上掲載の場合は3,000円/月)

詳しくは、下記までお問い合わせください。
 (問)役場総務課企画グループ(☎46-2111)



冠婚葬祭 1月分 <敬称略>

おめでた () 内は父母の名

下河南 大久保 けい 圭 将 (竜也・麻衣)

緑ヶ丘 中 道 ま 麻 綾 (誠・博子)

おしあわせに

{ 高 田 祐 仁 美 (向高家)
田 口 愛 美 (八戸市)

{ 田 中 大 祐 (笛 渡)
向 田 ユミ子 (洋野町)

{ 於 本 祐 貴 (下新町)
細 谷 地 結 香 (八戸市)

おくやみ () 内は享年

上新町 中 野 タ ケ (71歳)

荒 町 切 明 謙太郎 (55歳)

向川原 小笠原 圓之彌 (83歳)

向川原 横井内 卓 (61歳)

下谷地渡 下長根 彌 七 (82歳)

内 城 槻木澤 精 一 (82歳)

駒 板 藏野下 徳太郎 (78歳)

※お名前が俗字であっても正字で記載される場合がありますので、ご了承ください。

●人の動き <平成24年1月31日現在／町民生活課調べ>

男 5,146人(-7) / 女 5,339人(+10)

合計 10,485人(+3) / 世帯数 3,774(+7)
※()は前月比

転入 18人(18人) / 転出 6人(6人)

出生 2人(2人) / 死亡 11人(11人)
※()は1月からの累計

書道クラブ



書道クラブと町民講座「書道教室」受講者の皆さん

町文化協会発足時から活動を続ける書道クラブ(大清水あさ代表、町文化協会所属)。新春書き初め会の開催や町民文化祭での作品展示のほか、広島県の「ふれあい書道展」にも参加しています。

また、会員の大清水健治さんを中心に、町民講座「書道教室」の講師も務めています。「書道教室」は、町立図書館を会場に、月に2回開催しています。書道に興味のある方は、ぜひ一度ご参加ください。

【問い合わせ先】軽米中央公民館 (☎ 46-4151)

わ
・
か
る
ま
い
20



我が家の人気者 あこやがさん

お絵かき上手でおじいちゃん、おばあちゃんに似顔絵を書いてあげているゆづきちやん。とうま君は乗り物が大好きで、いつも「ブッパー」と言いながら遊んでいます。

(両親から一言)
弟思いのお姉ちゃんとやんちゃなとうま。これからも元気いっぱい遊んでね！

左) 中 里 優 月 ちゃん (4歳6ヶ月)
右) 馬 翔 馬くん (2歳8ヶ月)

愛称：ゆじゅ、とうま

(沢里) 佳隆さん・麻乃さんの長女、長男

ほつとひといき／編集後記

芸達者な町民の皆さんが多い
云出演した、生涯学習フェス
ティバル。今年で4回目の取材とな
りましたが、何度も見ても飽きない
というか面白いですね！よくも
まあ皆さんこんなに歌ったり踊っ
たり演技したりと上手にできるも
のだなあと、踊りと演技力に自信
のない私は感心しまくりでした。

生涯学習について特集した今
月号。学習という言葉から
机に座って勉強するようなイメー
ジを持つ方もいるかもしれません
が、自分の好きなことを楽しく続
けていくことが生涯学習だと思います。
多くの町民の皆さん、笑顔で楽しく「笑生涯学習」に取り組むことを期待しています！(山下)